

第 35 回支援連絡調整会議 議事録

日 時：2016 年 5 月 17 日(火) 10:00~12:00
場 所：長部地区コミュニティセンター 集会室
出席者：16 団体 20 名
進行/文責：酒井（事務局）

1. 事務局連絡（10:00~10:05）

- 事務局新スタッフの紹介
5 月より事務局に新スタッフ【種坂】が入りましたので、よろしくお願ひします。
- 平成 28 年度 登録団体連絡先一覧表の配布（資料）
今年度団体紹介票を更新した 53 団体を掲載したので（最新の情報を共有するため確認の取れた団体のみ）、ぜひご活用ください。登録団体数については全体確認終了後に共有する予定。

2. 活動報告（全体）（10:05~10:30）

- ・各団体より 4 月以降の活動報告、協力依頼およびイベント告知など
- ・質問あれば適宜。各団体 2 分程度で報告。

※以下発表順、発表者敬称略に記載

※発表の順番は第 35 回支援連絡調整会議参加者名簿に準ずる。番号は名簿の番号を記載。

◆活動報告

1~2	陸前高田市復興支援 連絡会／島倉	・復興庁総合交付金の中からコミュニティ形成支援事業を受託した。仮設住宅・災害公営住宅・高台移転地でのコミュニティサポートをしていく。 ・5/20（金）田端公営住宅でお茶会（自治会形成はまだだが、民生委員からの依頼。入居前の顔合せ以降に住民が集まる機会がないとのこと）。今後も住民の交流の場づくりを行う。
3	高田大隅つどいの丘 商店街／山本	・4 月に町田パークアベニュー商店街との交流会を実施。 ・6/5（日）商店街 4 周年イベント。消防・避難訓練、長い巻きずしなど様々な企画あり。周知協力をお願いしたい。
4	いわて生活協同組合 ／池田	・ふれあいサロン継続、野外での活動も今月から再開。 ・つどいの丘商店街 4 周年イベントに移動店舗「にこちゃん号」出店予定。
5~6	大船渡地域振興セン	・被災者相談支援センターの 4 月相談件数：全 109 件。うち

	ター／高橋	100 件が相談員対応で、住宅に関する相談（災害公営住宅入居に関して・住宅再建に係る公的支援制度等）：56 件、生活の健康・人間関係について：14 件。様々な会議で、住宅再建方法が未定で不安を感じている方々がいると話されている。毎週火曜日にファイナンシャルプランナーに無料相談できるので、そのような方がいたら情報共有をお願いしたい。
7	いわて連携復興センター／葛尾	<ul style="list-style-type: none"> ・6/3（金）盛岡で組織基盤強化ワークショップを開催予定。申込み方法等はホームページに掲載。 ・今年度も復興庁の被災者支援コーディネート事業を受託。団体を訪問しながら皆さんの課題を吸い上げて復興庁に届けていくので、ヒアリング等の際はよろしく。
8	もっちいと森の仲間たち／望月	<ul style="list-style-type: none"> ・この時期は、奥州市江刺区の若い農家から野菜の苗を頂いて高田市内に配布している。今日も欲しい方がいたらぜひ。 ・森の前に関わっていた北陸学院大、筑紫女学院大、岩大が交流を続けており、熊本地震に際し3 大学で連絡を取り、地元大学と連携して避難所に指定されていない避難所に物資を届けた。東日本大震災の教訓が活かされた。
9	陸前高田市地域福祉課／鶴嶋	<ul style="list-style-type: none"> ・今月から高齢者向けの給付金の受付開始。市内の対象者は2,700 人、額は一人3 万円。対象者に申請書を郵送済み。同封の申請書に記入し郵送する方法で、5/17～7/19 まで受け付け。住民から問合せなどあったら地域福祉課まで。
10～11	NEC ネットズエスアイ／村上	<ul style="list-style-type: none"> ・4 月末で来場者が7,200 名を超えた（年間2,000 人程）。最近では起業家への支援も行っているため、周りで起業したいけれど方法がわからない方がいたらぜひ来所頂きたい。引き続き通常利用も受け付けている。
12	陸前高田市生涯学習課／森下	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児学級が6/13（月）からスタート。3 歳未満の子をもつ親子の触れ合いや、お母さんが子育てに関して学ぶ学級（食育、子育てに係る費用など）。5/27（金）まで参加者を募集。 ・中高生ボランティアも行っている。5 月末までボランティアの受入れ事業所を募集しているのでよろしく。
13～14	陸前高田まちづくり協働センター／三浦	<ul style="list-style-type: none"> ・5 月から新スタッフが入りネットワークを担当。 ・6 月から高田地区市民会議を月1 回ほど開催予定。昨年度は高田地区コミュニティ推進協議会との協力だったが、今年度はより密接にということで、センターと協議会の共催として実施する。高田地区住民への告知や参加呼びかけ協力をお

		願いたい。
15	遠野山・里・暮らしネットワーク／林	<ul style="list-style-type: none"> ・中田公営住宅「はまらっせんクラブ」の説明会で10名ほど希望者がありスタートしていくと聞いている。 ・ゴールデンウィークに関西の生協がボランティア活動を行った（下和野公営住宅の雑草取り、小友サンファームの田んぼ周辺の側溝の泥出し、上長部仮設グラウンドの整備など）。 ・本日より、3名が熊本入り（3日間）。グリーンツーリズムで繋がっている団体に後方支援のノウハウを共有する予定。
16	教育支援チーム「まつ」／佐々木	<ul style="list-style-type: none"> ・6/2（木）市内の校長先生との話し合いを予定。そこで団体の総会も行い、承認されれば今後も会議に参加していく。
17	パクト／桑久保	<ul style="list-style-type: none"> ・二又復興交流センターでは、学校の部活動遠征での利用予約が入ってきている。また、高校地学部/天文部より高田で地質の勉強と天体観測をしたいとの希望があった。星が見える場所を知りたいそうなので、市内のお薦めスポットがあれば教えて頂きたい。
18	ハマトラ／篠原	<ul style="list-style-type: none"> ・6/12（日）横田でフットサル交流会を開催予定。今回告知期間が少ないので、横田の子どもたちと会う機会があれば情報共有をお願いしたい。
19	ヤルキタウン／熊谷	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとのイベントを行っている。4月の春祭りで、急遽熊本地震への義援金を募ったところ10万円を超える額が集まり市に託した。今後夏に盆踊りを予定している。 ・中高生ボランティアの受入れ団体として昨年夏に3回ほど受け入れた。関東中心の学生団体VoLoも中に入って中高生が活動しやすい内容を考えている。 ・タウン内の花画廊（芝生）でも東中仮設の住民さんが星の鑑賞会を行うなど、綺麗に見えるのでぜひ来て欲しい。
20	陸前たがだ八起プロジェクト／池田	<ul style="list-style-type: none"> ・モビリアの畑開きを行った（望月さん協力）。住民や仮設を出た方も一緒に活動。今後、仮設の集約でモビリアに住民が増えることも考慮し長期的なことを見据えて畑をやっている。 ・小友町内の様々な方（仮設・自宅再建・公営住宅など）の交流の場として「大人の遠足」を実施している（5月で7回目となった）。小友町域に回覧を回し、前は50名ほどがバスで花と泉の公園とアーク牧場へ。今後も交流の機会として継続する。

3. 活動分野毎の討議・意見交換（グループ議論）

<1G 地域・コミュニティ>

➤ 栃ヶ沢災害公営住宅について

市内唯一の県営かつ県内でも最大規模。別途県/市/支援団体が参加する任意の「栃ヶ沢ミーティング」が行われている。今後開催予定の入居説明会は、住民が集まるチャンスなので有効な場にしたい。市内の災害公営住宅の場合、自治会を形成することが前提となっているが、入居者に「なぜ必要なのか？」を丁寧に説明する必要があるとの話も出された。栃ヶ沢では、自治会長、区長、管理人がいる複雑な形にはなるが、支援の仕組みの部分とソフトの部分など、引き続き栃ヶ沢ミーティングの状況も共有してもらいながらこれから協力して動きたい。次回は、今後完成する他の災害公営住宅のスケジュールを確認。

<2G 子ども・教育／女性・子育て>

➤ 高田高校 JRC 生徒との繋がり

訪問した際には年間計画（方針）が決まっていなかった。活動はあまり活発ではない印象もあったが、今後の学生の活動のヒントとなればということも踏まえ、団体紹介の資料等を持って定期的な訪問を続けていきたい。JRC とつながる目的としては「JRC の生徒が自発的に活動できるようになること」。

➤ 子育て支援施設への再訪問について

各団体が訪問する際に、人手不足やサポートが必要な部分をニーズ調査していく予定。

<3G 商工・観光・産業・その他>

- 交流人口拡大に資するため3グループで出来ることは何か？のブレインストーミング
 - ・地元の方のニーズ/どんなものに価値を持っているのか？
 - ・外から来た人がどんなことに関心を持っているのか？

既に高田に移住している人に「なぜ今も高田に居るのか？」を聞くことで、地域の魅力を見つけるヒントになると思われるので、移住者向け・観光客向けのアンケートを実施したらどうかとの話が出された。地元の考える地域の魅力と外からの評価の差異を埋めて、人を呼び込むためにはどのようなものを作り上げたらいいのか検討し、また外に発信出来ていない部分などを拾っていきたい。まず、プラットフォームに参加している移住者に話を聞くアイデアも出された。

4. その他

【次回の開催日程】

- ・ 第36回 支援連絡調整会議 6月14日（火）10：00～12：00 ※詳細は別途連絡